

2021年3月期 第1四半期 決算説明会

2020年7月30日
株式会社 **DTS**

1. グループ会社3社を新規連結

2014年4月に設立したDTS SOFTWARE VIETNAM Co.,LTD.（DTSベトナム）、2019年3月にDTS上海により子会社化した大連思派電子有限公司（DLSE）および株式会社思派電子ジャパン（DLSEジャパン）の連結を開始し、すべての事業会社を連結対象とした。

2. 会計監査人の異動

前会計監査人の監査継続期間が長期にわたっており、新たな監査視点が必要との観点から、2020年6月の株主総会で会計監査人を変更した。
（異動前:有限責任監査法人トーマツ、異動後:EY新日本有限責任監査法人）

3. 自己株式の取得

2020年5月～6月、資本効率の向上ならびに株主に対する一層の利益還元を図るため、自己株式を取得した。（約444千株、約10億円）

第1四半期 連結業績

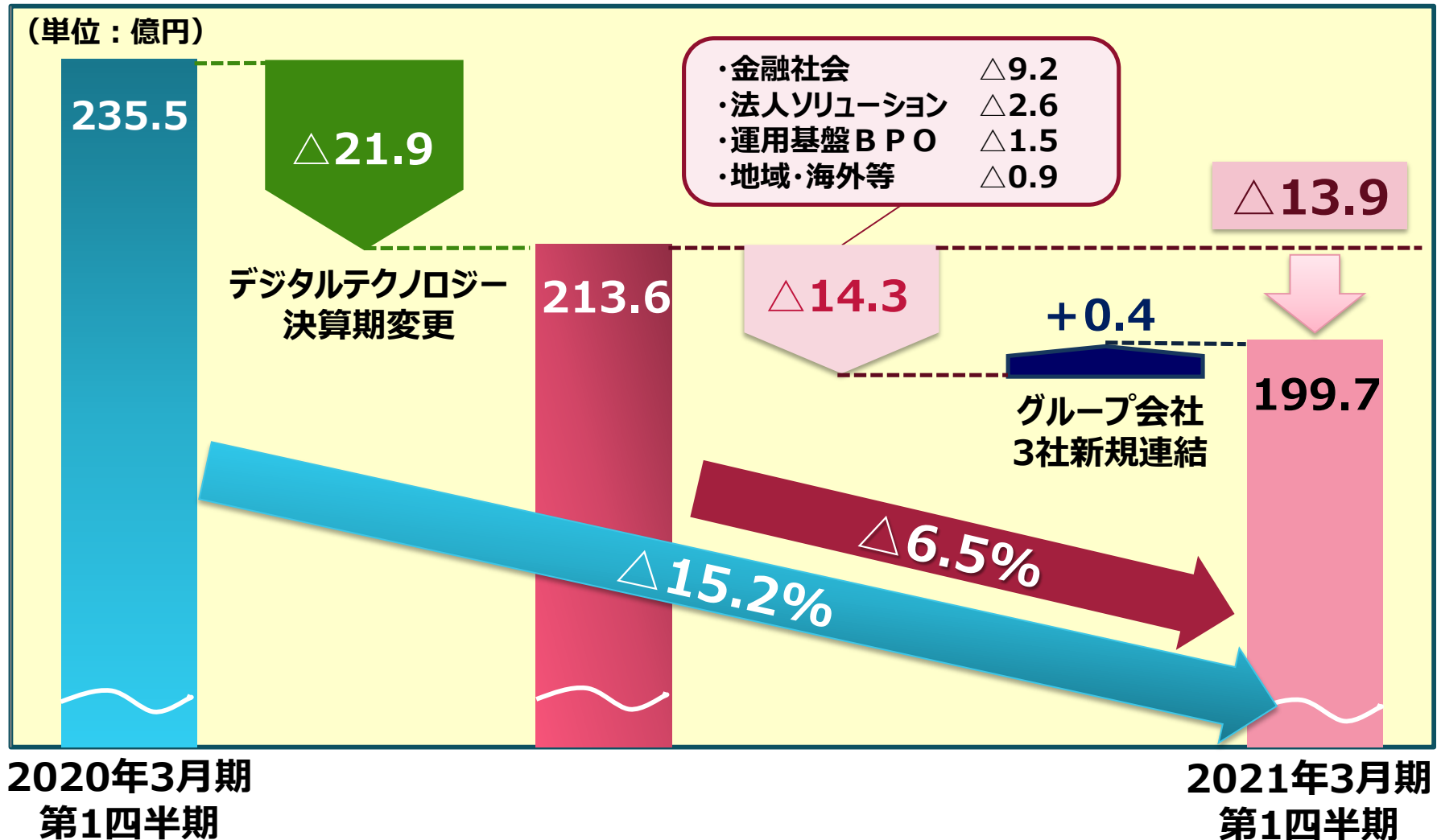
売上高は、デジタルテクノロジーの決算期変更影響に加え、金融分野・基盤プロダクト分野を中心に減収となり、前年同期比△35.8億円。

営業利益は、不採算案件の抑制や販管費の減少などがあったものの、減収に伴う利益減や原価率の悪化などにより前年同期比△5.2億円。

(単位 : 億円)	実 績	売上比 (前年同期比)	前年同期比		業績予想に対する進捗率
売上高	199.7	—	△35.8 <△13.9>	84.8% <93.5%>	21.0%
売上総利益	38.1	19.1% (△0.1pt) <△0.7pt>	△6.9 <△4.2>	84.5% <89.9%>	20.4%
販管費	19.6	9.9% (+0.8pt) <+0.4pt>	△1.7 <△0.4>	91.8% <97.7%>	24.6%
営業利益	18.4	9.2% (△0.8pt) <△1.2pt>	△5.2 <△3.7>	77.9% <82.9%>	17.2%
経常利益	19.0	9.6% (△0.7pt) <△1.1pt>	△5.1 <△3.6>	78.8% <83.8%>	17.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	12.9	6.5% (△0.7pt) <△1.0pt>	△3.9 <△2.9>	76.7% <81.2%>	17.5%

(参考) 第1四半期 売上高増減要因

デジタルテクノロジーの決算期変更影響を除いた場合、前年同期比△13.9億円（△6.5%）。



第1四半期 個別業績

売上高は、運用BPO分野が増収となったものの、金融分野の減収などにより、前年同期比△9.5億円。

営業利益は、売上高減少に伴う利益減少や、DXビジネス拡大に向けた先行投資などによる販管費増加で、前年同期比△2.9億円。

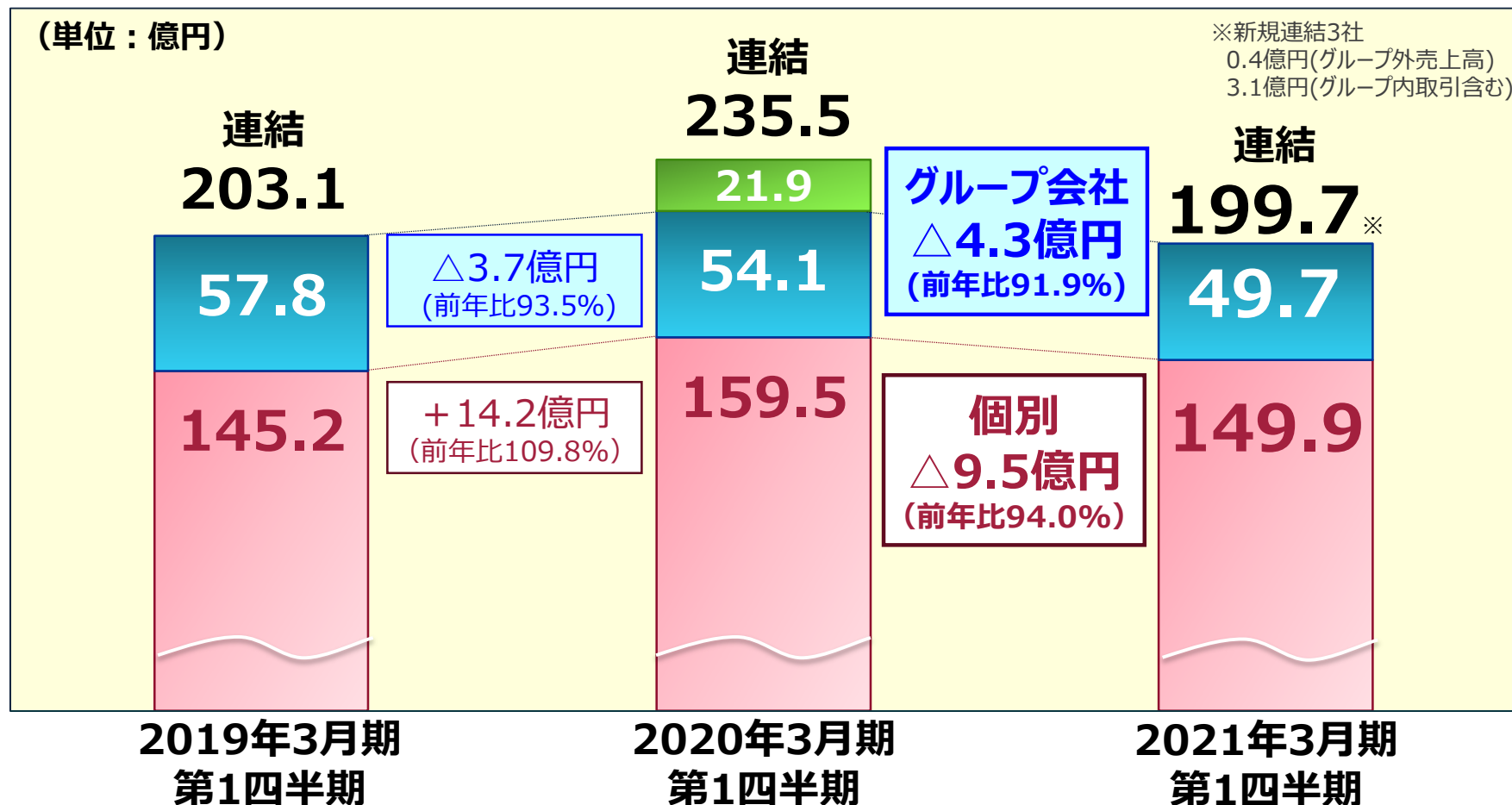
(単位：億円)	実績	売上比（前年同期比）		前年同期比	
売上高	149.9	—		△9.5	94.0%
売上総利益	28.5	19.0%	(△0.5pt)	△2.5	91.7%
販管費	12.5	8.4%	(+0.7pt)	+0.3	102.7%
営業利益	15.9	10.6%	(△1.2pt)	△2.9	84.6%
経常利益	21.1	14.1%	(△0.7pt)	△2.4	89.7%
四半期純利益	15.9	10.6%	(△0.4pt)	△1.6	90.7%

売上高の推移【個別・グループ会社】

個別(DTS)は、不動産関連案件などが増加したものの、証券の大型案件ピークアウトによる反動減で、前年同期比△9.5億円。

グループ会社では、プロダクト販売の減少などで前年同期比△4.3億円。

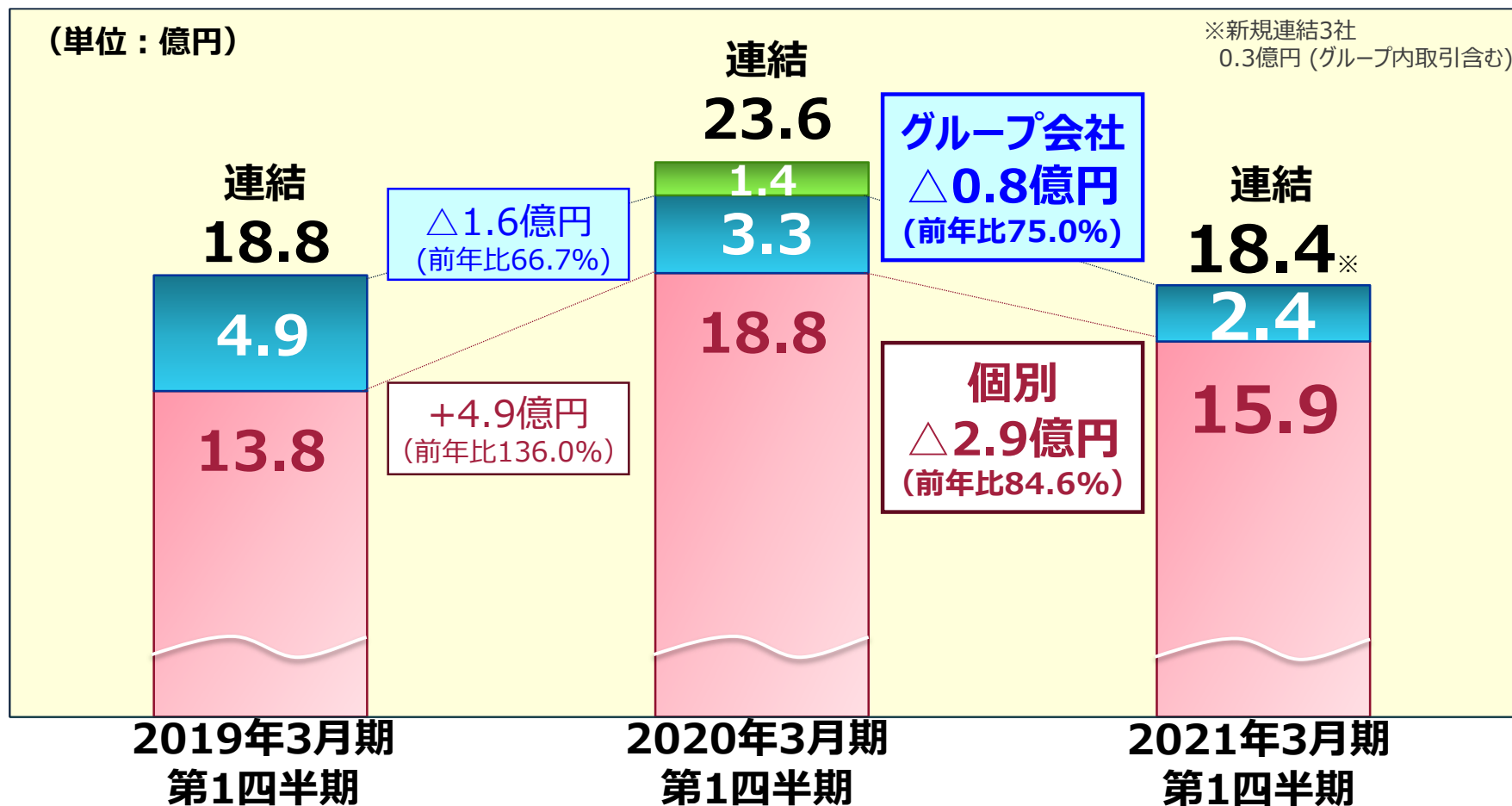
■ 個別売上高 ■ グループ会社売上高（連結調整含む） ■ DTC決算期変更



営業利益の推移【個別・グループ会社】

個別(DTS)は、減収に伴う利益減などにより△2.9億円。
グループ会社では、販管費を削減したものの、組込み分野におけるプロダクト販売減少による利益減のカバーには至らず、前年同期比△0.8億円。

■ 個別営業利益 ■ グループ会社営業利益（連結調整含む） ■ DTC決算期変更



第1四半期 セグメント別売上高

- ・金融社会は、証券の大型案件ピークアウトによる反動減などにより減収。
- ・法人ソリューションは、ソリューション案件は堅調だが、組込み関連の不調で減収。
- ・運用基盤BPOは、プロダクト販売の減少により減収。
- ・地域・海外等は、地域会社における金融案件縮小などで減収。

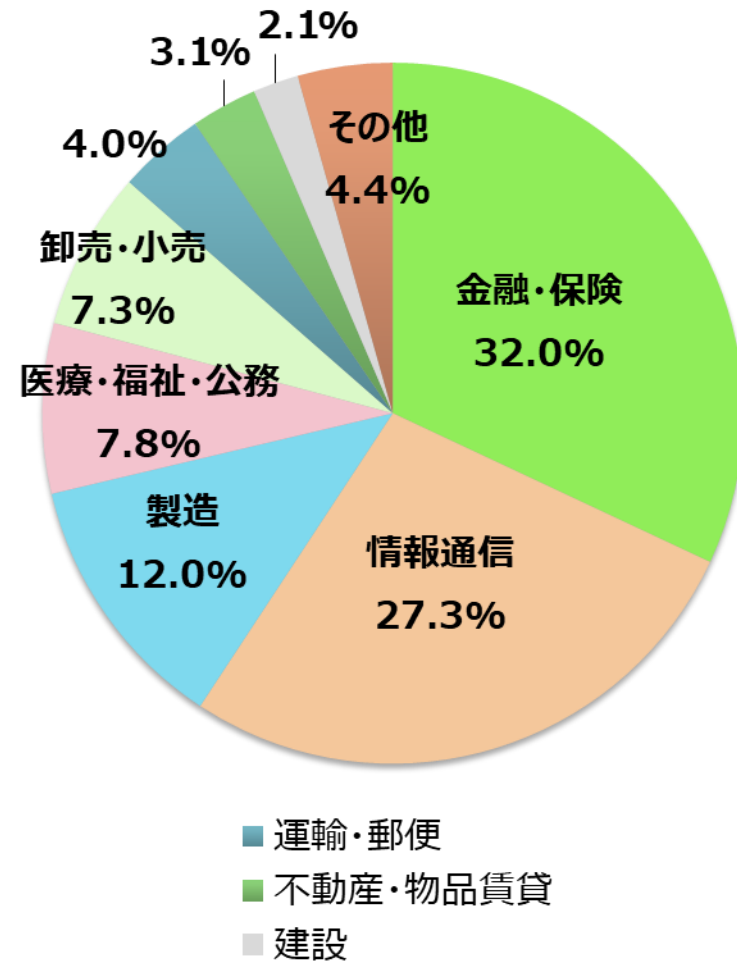
(単位：億円)		実 績	売上比（前年同期比）		前年同期比		業績予想に対する進捗率
売上高		199.7	—		△35.8 <△13.9>	84.8% <93.5%>	21.0%
	金融社会	65.1	32.6%	(+1.0pt) <△2.2pt>	△9.2	87.6%	21.4%
	法人ソリューション	58.9	29.5%	(+3.4pt) <+0.7pt>	△2.6	95.7%	20.6%
	運用基盤BPO	50.6	25.4%	(△6.1pt) <+0.9pt>	△23.4 <△1.5>	68.3% <97.0%>	21.3%
	地域・海外等	24.9	12.5%	(+1.7pt) <+0.6pt>	△0.4	98.1%	20.4%

(参考) 第1四半期 エンドユーザ別連結売上高

経済産業省による業種分類別売上高

(単位：億円)	金額	構成比	前年同期比	
金融・保険	63.8	32.0%	△ 13.0	83.1%
情報通信	54.4	27.3%	△ 2.0	96.4%
製造	24.0	12.0%	△ 2.9	89.2%
医療・福祉・公務	15.6	7.8%	△ 0.4	97.0%
卸売・小売	14.5	7.3%	+ 2.7	123.7%
運輸・郵便	8.0	4.0%	△ 0.3	95.5%
不動産・ 物品賃貸	6.1	3.1%	+ 3.0	196.4%
建設	4.1	2.1%	△ 0.6	87.3%
その他	8.7	4.4%	△ 0.2	96.9%
合計	199.7	100.0%	△ 13.9	93.5%

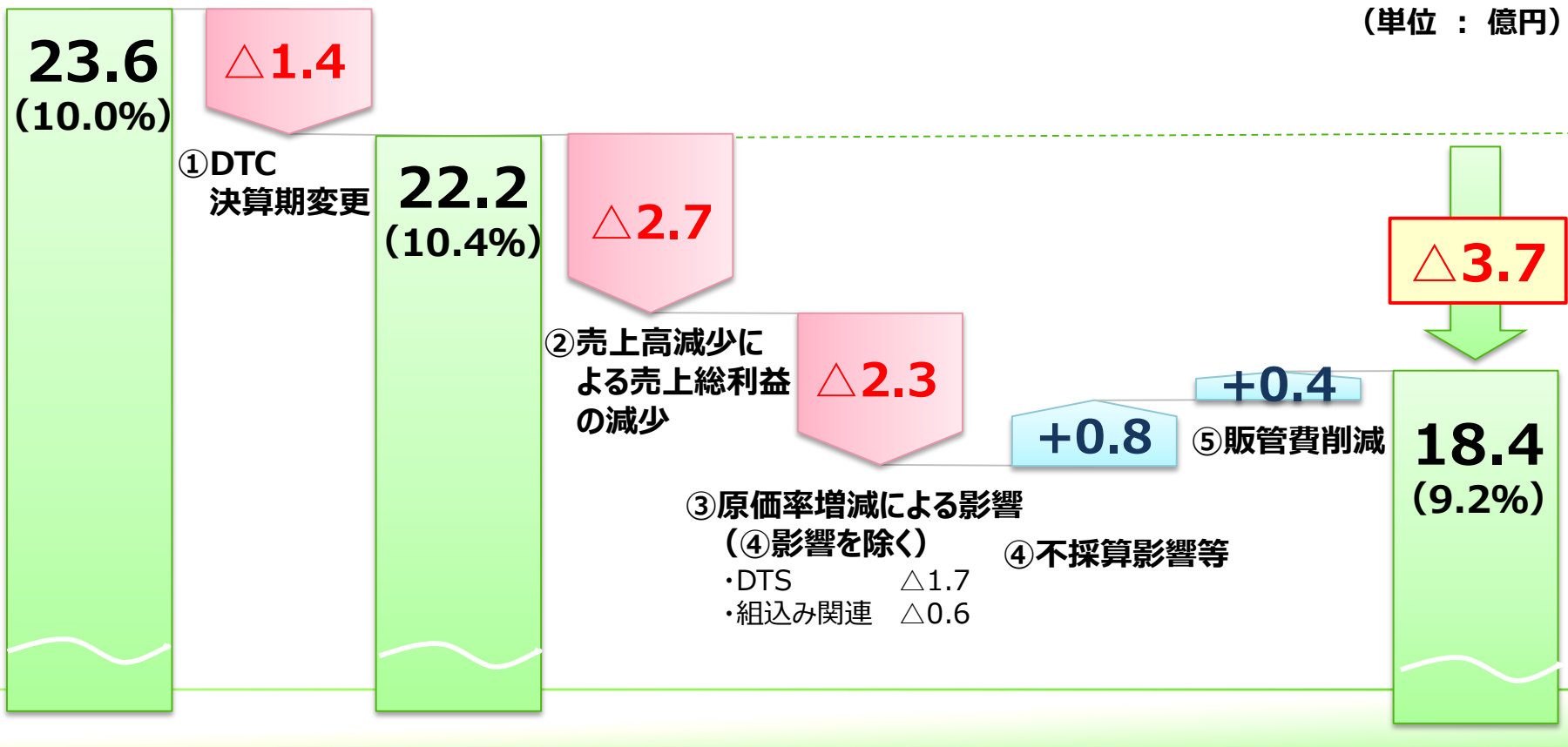
(デジタルテクノロジーの決算期変更影響を除く)



第1四半期 連結営業利益の増減要因

不採算案件の抑止や販管費削減に取り組んだものの、売上減少に伴う利益減や法人ソリューションセグメントにおける原価率悪化のカバーには至らず、前年同期比△3.7億円。

(単位：億円)



2020年3月期
第1四半期

2021年3月期
第1四半期

第1四半期 セグメント別受注

【受注残高の状況】

- ・金融社会は、OA案件完了の反動減を共済案件などでカバーし前年同期並み。
- ・法人ソリューションは、ソリューション案件が堅調に推移したが住宅関連案件のピークアウトにより減少。
- ・運用基盤BPOは、教育機関向けプロダクト案件などにより増加。
- ・地域・海外等は、金融案件縮小などにより減少。

単位（億円、%）		受注高				受注残高			
		実績	構成比	前年同期比		実績	構成比	前年同期比	
連結		140.4	—	△32.8 <△16.5>	81.1% <89.5%>	347.2	—	+18.0	105.5%
	金融社会	40.0	28.5%	△2.1	94.8%	121.5	35.0%	△0.5	99.5%
	法人ソリューション	52.1	37.1%	△6.3	89.2%	68.6	19.8%	△1.1	98.3%
	運用基盤BPO	24.0	17.1%	△22.0 <△5.7>	52.1% <80.7%>	127.3	36.7%	+22.3	121.3%
	地域・海外等	24.1	17.2%	△2.2	91.5%	29.7	8.6%	△2.5	92.1%

(参考) 主なプレスリリース等

公表日	会社名	タイトル・概要
7月1日	D T S W E S T	「kotosora for LGWAN」を活用した春日井市職員様向け自動応答システムの実証実験を開始 総合行政ネットワーク（LGWAN）対応AI FAQソリューション「kotosora for LGWAN」を活用した春日井市職員様向け自動応答システムの実証実験を開始。（期間：2020年7月1日～8月31日）
6月15日	D T S	自己株式の取得状況および取得終了に関するお知らせ 取得総数：444,100株、取得総額：999,798千円 期間：2020年5月1日～6月12日
5月18日	デジタルテクノロジー	Druva社とディストリビュータ契約、テレワーク環境のエンドポイント保護を提供 クラウドデータ保護および管理のリーダーであるDruva Inc.（本社：米国）と販売代理店契約（ディストリビューター契約）を締結。シンプルかつ費用対効果の高いサーバー向けバックアップ、クラウド時代におけるエンドポイントのデータ保護やセキュリティが求められるようになった背景から、DruvaのPhoenixとinSync製品をラインナップに加え、サーバーだけでなくクラウドアプリケーションを含むエンドポイント保護のソリューション拡充を図る。
5月12日	D T S	会計監査人の異動に関するお知らせ 監査役会にて会計監査人の異動を行うことについて決議、5月14日取締役会にて、6月19日の定時株主総会に付議することを決議予定（6月19日開催の定時株主総会にて承認可決された）
4月24日	D T S	IoTとAIの力で製造現場のDX化(デジタル・トランスフォーメーション)を実現。製造現場向けIoT Platform『Pasteriot』を販売開始 製造現場のデジタル化を支援するIoT Platform「Pasteriot（パステリオ）」を4月24日より販売開始。メーカーが異なる製造機器においても生産状況のデジタル化が可能。また、製造現場の制御ルール化の設定やAI活用等により、業務効率化・生産性向上を実現。

2021年3月期 第1四半期 決算説明会

ご清聴ありがとうございました

新たな価値を創り出す

MADE BY DTS Group

本資料についてのご注意

本資料に記載されている将来の売上高および利益などの予想数値は、業界の動向を含む経済情勢、お客様の動向など、現時点で入手可能な情報をもとにした見通しを前提としておりますが、これらは、種々の不確実な要因の影響を受けます。したがって、実際の売上高および利益などは、本資料に記載されている予想数値とは異なる場合がありますことをご承知おきください。